

展覧会名 : 冬の所蔵品展示 1910-1930年代の日本近代絵画を中心に

会期 : 2008年12月6日(土)~2009年2月1日(日)

休館日 : 月曜日(ただし1月12日は開館)、12月24日(水)
12月30日(火)~1月3日(土)、1月13日(火)

開館時間 : 午前9時30分~午後5時
(入館は午後4時30分まで)

観覧料 : 一般700円(600円)
20歳未満と学生550円(450円)
65歳以上350円
※()内は20名以上の団体料金です。
高校生以下の方、障害者の方は無料です。

会場 : 神奈川県立近代美術館 鎌倉
〒248-0005
鎌倉市雪ノ下2-1-53(鶴岡八幡宮境内)
tel:0467-22-5000

主催 : 神奈川県立近代美術館

内容 :

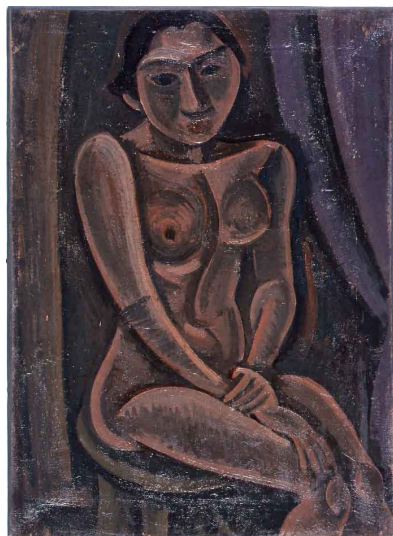
今回の展覧会では、当館のコレクションの中核をなす日本近代洋画のうち、大正期から昭和初期に光を当てて、さまざまな潮流を汲んだ多様な作品を展示いたします。この時代は幕末から明治初期に移入された「洋画」が根付き、その技法をもって幾多の画家が西欧の新しい動向を身につけたり、日本の風土のなかで自らの絵画を模索したりと、それぞれの道を切り開きながら個性を多彩に花開かせた時代です。

官展のアカデミズムに対抗し、フウザン会や二科展で活躍した萬鉄五郎、岸田劉生、関根正二。ドイツやフランス、アメリカなど、海外で同時代の表現を体得した村山知義や梅原龍三郎、国吉康雄。そして、昭和前期の古賀春江や前田寛治、三岸好太郎から、松本竣介や麻生三郎といった戦中と戦後をつなぐ画家と彫刻家約50名による、約70点を展示いたします。

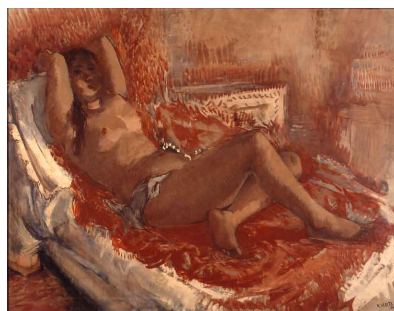
担当学芸員によるギャラリートーク : 12月20日(土)、1月17日(土) 午後3時から

ファミリー・コミュニケーションの日 : 毎月第1日曜日(12月7日、1月4日、2月1日)は、18歳未満または高校生以下のお子様と一緒にご来館いただいた方は、展覧会を無料でご観覧いただけます。

主な出品作品 :



萬鉄五郎《裸婦》1918年



前田寛治《裸婦》1928年



吉原治良《作品》1936年頃



福沢一郎《よき料理人》1930年



松本竣介《建物》1935年